

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社ささえ	代表者	笠嶋信夫	法人・事業所の特徴	通いサービスや訪問サービスの予定は決まっていますが、施設全体を一つの地域と捉え24時間・365日、困った時は勿論、困っていない時も、いつでも気軽に立ち寄れる居場所の様な事業所を目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護事業所ささえ2号館	管理者	鮎川律子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	1人	3人	1人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	スタッフ全員が一致団結をしてより良い事業所を目指します。事業所内の様子や雰囲気を知ってもらうためにも、地域との交流を行う。		運営推進会議にフロア長も参加してくれたので、雰囲気がよくわかった。施設内を見学した際、職員や利用者が明るく挨拶をしてくれた。	スタッフ全員が一致団結をしてより良い事業所を目指します。事業所内の様子や雰囲気を知ってもらうためにも、地域との交流を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	月に1度の行事に地域の方の参加して頂きたい。困りごとがあった時に、気軽に立ち寄れるように看板を出すなど、明るい雰囲気作りをする。	利用者様の作った作品が随時展示され楽しめる。利用者の写真が飾られていて、利用者も見て楽しんでいた。	施設内は清潔で明るい雰囲気と思う。建物が新しく施設っぽい印象。玄関等、掲示物を工夫して、気軽に入れるような雰囲気があるとよい。	月に1度の行事に地域の方の参加して頂きたい。困りごとがあった時に、気軽に立ち寄れるように看板を出すなど、明るい雰囲気作りをする。
C. 事業所と地域のかかわり	施設内の行事で「カフェ」や「集い」を計画し、地域の方を招き入りたい。	利用者を持って、スーパーまで買い物へ行った。コロナの影響が大きく、外部の方とは距離をとる活動に留まった。	地域の行事が中止になっているため参加出来なかったが、夏祭りや盆踊りは酸化したいと考えている	施設内の行事で「カフェ」や「集い」を計画し、地域の方を招き入りたい。ビラの配布、ポスター貼布、近所の方に声掛けを行い来て頂く
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご家族様の協力も必要だが、ご利用者様を戸外に出て季節を感じてもらいたい。	地域のイベント事態が中止になり、再開を待っている。内部では、制限を行わず、自由に行き来をして交流が出来た。	会議に参加は難しかったが、皆さんが集まった中で、職員同士話が出来、なんでも言える雰囲気になっていた。	利用者様の状態や希望をお聞きして、出来るだけ外出（散歩・外気浴・買い物）は対応する。去年行った行事や集いをバージョンアップさせたい

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議に家族や本人、現場の職員等色々な方に参加してもらおう。	運営推進会議が今年になってから実施出来ている。利用者の様子や全体の雰囲気は上手く伝わっていると思う	会議では活発な意見交換が出来ていると思う。家族や本人、現場の職員に参加して頂きたい。	運営推進会議に家族や本人、現場の職員等色々な方に参加してもらおう。
F. 事業所の防災・災害対策	火災と地震・日中と夜間の設定をかけ訓練を行う。 出火場所や避難経路、集合場所の設定を変え訓練を行う。	訓練の計画や準備、周知が出来ていて、速やかに行えている	利用者同士協力し、参加してくれた。	BCP 計画策定を行い、緊急時対応研修や感染症対応策研修、新人研修を行い継続と更新を行う。